

平成 30 年度第 2 回羽曳野市指定管理者選定等委員会 会議録（要旨）	
日 時	平成 30 年 6 月 25 日（月）10 時 00 分 ～ 11 時 00 分
場 所	市役所 別館 3 階 第 1 ～ 3 会議室
出席者	<p><b>【委員】</b>  外部委員：金谷重樹委員、杉谷文明委員、渡邊明久委員  内部委員：椿原稔委員、藤林弘欣委員、戸成浩委員  （6 名中 6 名出席）</p> <p><b>【事務局】</b>  山田行財政改革推進室長兼課長、北辻行財政改革推進課主幹、  宮岡行財政改革推進課主事</p> <p><b>【施設所管課】</b>  情報政策課職員、環境衛生課職員、地域包括支援課職員  市民協働ふれあい課職員、スポーツ振興課職員</p>
議 題	○平成 29 年度モニタリング（平成 28 年度実績）に係る業務改善報告 ○平成 30 年度モニタリング（平成 29 年度実績）1 次及び 2 次評価結果の報告 ○指定管理者選定のための審査方法、募集（申出）要項の審議 ○その他
資 料	①【資料 1】業務改善及び委員意見対応報告 ②【資料 2】モニタリング 1 次 2 次結果報告 ③【資料 3】審査要領、審査基準、上限額、事業計画書（案） ④【確認資料①】市の方針 ⑤【確認資料②】モニタリングスケジュール ⑥【確認資料③】選定スケジュール
会議内容	○議題に入る前に、第 1 回指定管理者選定等委員会審議後、市長決裁を経て決定した市の方針を確認した。【確認資料①】 ●議題：平成 29 年度モニタリング（平成 28 年度実績）に係る業務改善報告（情報政策課→市民協働ふれあい課→環境衛生課→スポーツ振興課） 概要：【資料 1】に基づき施設所管課より説明を行った。 委員からの質問：ミートセンターにおける緊急時の対応について、現状どうか？ 所管課回答：作業終了後は数名しか残っていない。作業が終わ

り違う現場へ行く職員も多い。また、外に出ると衛生管理上再び入ることができないため、実施には至っていない。ミートセンター内に入っている他会社とも協議が必要になる。

**委員からの意見：**ミートセンターは、通常の施設とは違うため、実現は難しいと感じる。

**委員からの意見（全体を通して）：**モニタリング評価項目「利用者対応」の「利用者等で構成する組織を設置し、同組織よりの意見・要望等を業務の改善等に反映させているか」という指標に関して、長を拝命し運営していくことに難色を示す等、利用者の意向は前向きではないとのことだった。ならば長を置くようなきちんとした組織ではなくてもいいのではないか。グループでの利用ならリーダーがいると思うので、その方たちの集まりと考え、リーダーがグループの意見を集約すればよいのではないか。

- 議題：**平成30年度モニタリング（平成29年度実績）1次及び2次評価結果の報告（地域包括支援課→市民協働ふれあい課→環境衛生課→スポーツ振興課）

**概要：**【資料2】に基づき施設所管課より報告があった。  
【確認資料②】に基づき、今後のスケジュールを確認し、総合評価について各委員へ依頼。

- 議題：**指定管理者選定のための審査方法、募集（申出）要項の審議

**概要：**【資料3】に基づき事務局から説明。  
【確認資料③】に基づき今後のスケジュールを確認。

**委員からの質問：**指定管理料の上限額は、施設ごとか？それとも一括か？

また、【資料3-①】3審査方法 オ 申出団体が一者であっても、合格基準に達しない場合は、「候補者なし」とする旨、記載されているが、このような場合、選定はどうするのか？

**事務局からの回答：**一括の金額である。

この場合、考えられるのは、現行の指定管理者に1年間だ

け期間を延長するよう申し入れることになるだろう。

**委員からの質問：**モニタリング評価項目「利用者対応」の「利用者等で構成する組織を設置し、同組織よりの意見・要望等を業務の改善等に反映させているか」という指標を設定しているが、審査の段階では事業計画書において求めている。

**事務局からの回答：**仕様書に記載している。

利用者からの意見を反映させたいと、組織の設置を義務付けるという仕様書の書き方を変更する方向で考える。

**委員からの意見：**その方が良い。

●**議題：**その他

**概要：**次回の委員会日程については後日、日程調整を行う。